



平成30年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年4月10日

上場会社名 株式会社 エムピーエス
 コード番号 1401 URL <http://www.homemakeup.co.jp/>

上場取引所 東 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 貴士

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 栗山 征樹

TEL 0836-54-1414

四半期報告書提出予定日 平成30年4月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年5月期第3四半期の業績(平成29年6月1日～平成30年2月28日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第3四半期	1,994	12.3	198	16.2	254	24.8	175	29.1
29年5月期第3四半期	1,776	24.8	170	7.7	204	15.4	135	19.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第3四半期	24.08	23.05
29年5月期第3四半期	18.65	18.37

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年5月期第3四半期	2,732	1,734	63.4	238.15
29年5月期	2,803	1,558	55.5	213.90

(参考)自己資本 30年5月期第3四半期 1,732百万円 29年5月期 1,556百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期		0.00		0.00	0.00
30年5月期		0.00			
30年5月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年5月期の業績予想(平成29年6月1日～平成30年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,880	8.2	252	0.9	318	8.1	217	4.7	29.85

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年5月期3Q	7,275,000 株	29年5月期	7,275,000 株
期末自己株式数	30年5月期3Q	株	29年5月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	30年5月期3Q	7,275,000 株	29年5月期3Q	7,275,000 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和政策を背景に企業収益や雇用環境の改善が続くなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

しかしながら、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響等により、先行き不透明な状況が続いております。

当社が属する建設業界におきましては、政府の公共投資並びに民間投資は堅調に推移しているものの、施工を行う技術者不足が解消されていないことに加え、資材価格や労務費といった建設コストの高騰が工事収益を圧迫するなど厳しい状況も続いております。

このような状況の中、当社は、新たに平成29年6月に浜松支店(静岡県)を設置するとともに、既存店におけるパートナー(工務店等)との関係強化に取り組み、受注拡大を図って参りました。また、原価低減と経費削減、工事採算性を重視した受注方針の徹底、施工管理と品質・技術の向上に努めるとともに、人材採用及び育成にも積極的に取り組み、業容拡大や収益力の向上等も図って参りました。

これらにより第3四半期累計期間における売上高は、1,994,490千円(前年同期比12.3%増)、営業利益は、増収による売上総利益の増加に加えコスト圧縮効果もあり198,637千円(前年同期比16.2%増)となりました。また経常利益は、当社太陽光発電による売電収入29,667千円、外国社債に関する有価証券利息9,790千円のほか、減価償却費18,254千円、支払利息1,563千円の計上等により254,816千円(前年同期比24.8%増)、四半期純利益は、175,153千円(前年同期比29.1%増)となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

(ホームメイキャップ事業)

ホームメイキャップ事業におきましては、ホームメイキャップ工法による内外装リフォーム工事等の増加により、売上高は1,797,294千円(前年同期比7.8%増)となり、セグメント利益は341,967千円(前年同期比21.9%増)となりました。

(建築工事業)

建築工事業におきましては、新築及び改修工事等が増加したため、売上高は195,354千円(前年同期比81.8%増)となり、セグメント利益は21,657千円(前年同期比142.7%増)となりました。

(その他)

F C加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等で構成されるその他の事業におきましては、材料販売等の増加により、売上高は1,841千円(前年同期比15.9%増)となり、セグメント利益は422千円(前年同期比90.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における資産の部は、前事業年度末に比べ71,171千円減少し、2,732,320千円となりました。これは主に、現金及び預金246,749千円の減少、有形固定資産111,079千円の減少、未成工事支出金88,847千円の増加、受取手形65,728千円の増加等によるものであります。

負債の部は、前事業年度末に比べ247,603千円減少し、997,358千円となりました。これは主に、支払手形120,315千円の減少、長期借入金66,204千円の減少、未払法人税等24,429千円の減少、工事未払金39,396千円の増加等によるものであります。

純資産の部は、前事業年度末に比べ176,432千円増加し、1,734,961千円となりました。これは主に、利益剰余金175,153千円の増加、その他有価証券評価差額金1,278千円の増加等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年7月12日に発表いたしました平成30年5月期の業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年5月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	871,759	625,010
受取手形	114,508	180,236
完成工事未収入金	339,889	286,348
売掛金	5,841	16,590
未成工事支出金	228,471	317,319
仕掛販売用不動産	6,464	6,464
原材料及び貯蔵品	10,474	24,014
その他	30,513	41,429
貸倒引当金	△7,387	△8,230
流動資産合計	1,600,537	1,489,184
固定資産		
有形固定資産		
土地	417,703	359,132
その他(純額)	318,034	265,525
有形固定資産合計	735,738	624,658
無形固定資産		
	2,712	22,424
投資その他の資産		
投資有価証券	300,443	302,282
その他	169,369	300,375
貸倒引当金	△5,309	△6,605
投資その他の資産合計	464,503	596,052
固定資産合計	1,202,954	1,243,135
資産合計	2,803,491	2,732,320
負債の部		
流動負債		
支払手形	268,481	148,166
工事未払金	174,141	213,538
買掛金	43,639	53,473
1年内返済予定の長期借入金	88,272	88,272
未払法人税等	61,427	36,997
完成工事補償引当金	26,513	32,954
その他	281,597	183,498
流動負債合計	944,073	756,900
固定負債		
長期借入金	228,088	161,884
資産除去債務	6,336	7,214
その他	66,464	71,359
固定負債合計	300,888	240,458
負債合計	1,244,961	997,358

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年5月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	335,164	335,164
資本剰余金	343,931	343,931
利益剰余金	813,950	989,104
株主資本合計	1,493,046	1,668,199
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	63,083	64,361
評価・換算差額等合計	63,083	64,361
新株予約権	2,400	2,400
純資産合計	1,558,529	1,734,961
負債純資産合計	2,803,491	2,732,320

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年6月1日 至平成30年2月28日)
売上高	1,776,062	1,994,490
売上原価	1,225,726	1,349,105
売上総利益	550,335	645,385
販売費及び一般管理費	379,440	446,748
営業利益	170,895	198,637
営業外収益		
不動産賃貸収入	3,226	4,650
有価証券利息	9,236	9,790
売電収入	28,268	29,667
助成金収入	10,219	30,312
その他	7,937	8,409
営業外収益合計	58,888	82,830
営業外費用		
支払利息	1,862	1,563
売電費用	1,822	2,245
減価償却費	19,485	18,254
貸倒引当金繰入額	-	716
その他	2,358	3,870
営業外費用合計	25,529	26,650
経常利益	204,254	254,816
特別利益		
固定資産売却益	-	2,430
特別利益合計	-	2,430
税引前四半期純利益	204,254	257,247
法人税、住民税及び事業税	70,259	80,105
法人税等調整額	△1,652	1,987
法人税等合計	68,606	82,093
四半期純利益	135,647	175,153

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 平成28年6月1日 至 平成29年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームメイキャ ップ事業	建築工事業	小計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,667,038	107,436	1,774,474	1,588	1,776,062
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,667,038	107,436	1,774,474	1,588	1,776,062
セグメント利益	280,541	8,924	289,466	222	289,688

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、F C加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	289,466
「その他」の区分の利益	222
全社費用(注)	△118,792
四半期損益計算書の営業利益	170,895

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自 平成29年6月1日 至 平成30年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームメイキャ ップ事業	建築工事業	小計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,797,294	195,354	1,992,649	1,841	1,994,490
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,797,294	195,354	1,992,649	1,841	1,994,490
セグメント利益	341,967	21,657	363,625	422	364,047

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、F C加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	363,625
「その他」の区分の利益	422
全社費用(注)	△165,410
四半期損益計算書の営業利益	198,637

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。